

政教分離と平和を祈る

2019.2.11開催 2・11 平和の集い

主題「平和の神学の課題としての象徴天皇制」

—天皇代替わりを前にキリスト者として問われていること—

【講師からの一言】

日本キリスト改革派教会は先の10月の定期大会において

「天皇代替わりの諸行事に関して政教分離と国民主権の原則を厳守するよう求める声明」を採択しました。

来たる天皇代替わりを前にして、わたしたちはキリスト者として、今、何が問われているのでしょうか。

平和の神学の課題としての象徴天皇制について

あらためて共に考えたいと思います



講師 豊川慎長老 (日本キリスト改革派湘南恩寵教会)

豊川慎長老は、関西学院大学神学部卒業後、カナダ、オランダのアムステルダムで、おもにキリスト教哲学についての研究を続けられました。帰国後、いくつもの大学でキリスト教関係の講座を受け持ちつつ、聖学院大学において学術博士(Ph. D)を取得。湘南恩寵教会長老として奉仕を続ける中、東部中会においては信徒説教者にも任ぜられました。2019年からは関東学院大学宗教主事(チャプレン)としての働きも更に与えられます。日本キリスト改革派教会においては、憲法委員会第一分科会、執事活動委員会において、特に「平和学」の観点から様々な働きに仕えてくださっています。共著書に『現人神から大衆天皇制へ—昭和の国体とキリスト教』刀水書房、2017年など。

プログラム

- 10:30~11:00 開会礼拝(献金があります) 説教 市川康則教師(千城台教会)
- 11:00~12:30 講演「平和の神学の課題としての象徴天皇制」 豊川慎長老
- 12:30~13:30 昼食休憩
- 13:30~14:30 質疑応答 司会 芦田高之教師(新浦安教会)
- 14:30~15:00 ヤスクニ問題の情勢報告・祈祷会 司会 鍵谷秀司長老(船橋高根教会)

日時 2019年 2月11日(月) 午前10時30分~午後3時

会場 日本キリスト改革派 船橋高根教会

千葉県船橋市高根台6-35-4 TEL:047-465-6337 (新京成線「高根木戸駅」から徒歩15分)

主催: 東関東中会伝道委員会